

八海山大日岳 山行報告

【山 域】 越後三山

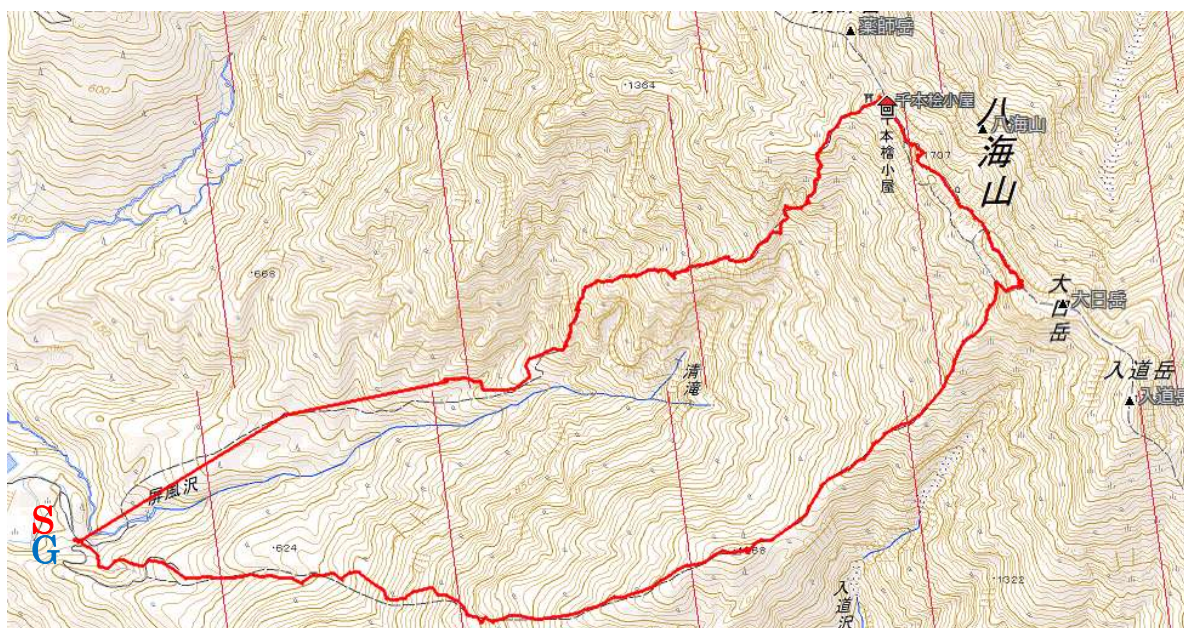
【ル ー ト】 芝原二合目登山口～地藏岳～大日岳

【登山方法】 ハイキング

【日程】 2019年7月7日

【参加者】 CL小宮山(記録) 佐藤(健)

【行程】 道の駅 5:00～6:27 芝原二合目登山口～屏風道～10:45 千本檜小屋～12:00 大日岳～13:30 新開道～16:00 芝原二合目登山口



【内容】

トレーニング山行 5/5、最終回。7月6日21時に千葉を出発し、道の駅南魚沼で仮眠する。7月7日5:30道の駅出発、6:27芝原2合目登山口より登山開始する。沢を渡ってしばらくは緩やかな登りが続く。沢は水も少なく徒渉に問題なかった。標高800mを超えるあたりで鎖場となる。八峰の下に清滝が見える。滝を見ながら休憩して鎖場に挑む。



沢



立ちほだかる山



急ですが手掛かり足掛かり◎

ひたすら稜線までプチ岩登りが続く。私には程よい角度で、手掛かり足掛かりもあり楽しい。少しガスがかかったり晴れたりするが、振り返ると足元に麓が見える。周囲の緑も濃くて気持ちのいい景色。屏風道を登る人は他にはいなかった様だ。(S注:え?3パーティ4人くらいに抜かされてますけど)

10時50分、稜線の登山道と合流する。登ってきた屏風道は、急なため登り専用となっている。登山道との合流部に“屏風道は急なため、下山路としての使用はしないでください”の看板があった。

千本檜小屋を通過。以前来た時も、7月だったなあ、雨が降っていてここでしばらく休んだことを思い出す。マッターホルンに出発前のトレーニングだった。今回もまたトレーニング。運動強度もあり岩もあり、ちょうどいい感じで八海山には大変お世話になっている。

思い出に浸ってから稜線に沿って進む。なぜか赤とんぼが大量に飛んでいる。???地元っぽい人(推定年齢40歳おじさん)によると、この時期に山にいて、だんだん里に下りていくとの事。そうなんだ、赤とんぼは秋しかいないのかと思った。この人は不動岳の祠?の前で何かを焚いてお経?を唱えていた。信仰の山だとわかる。恰好は山伏姿ではなくて、今どきの山ノボラー風だった。



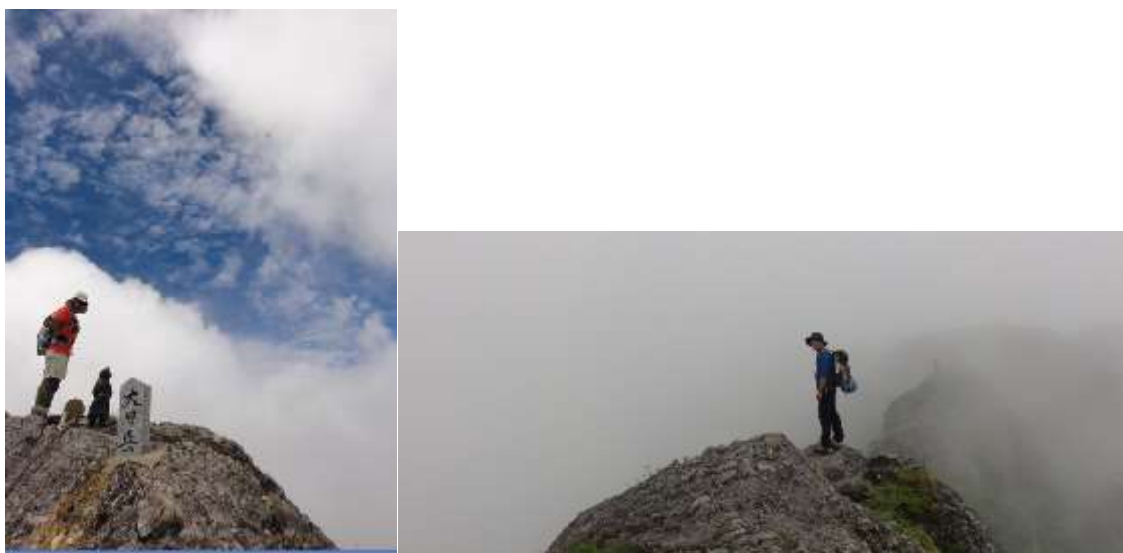
お手本を見つつ3点支持、鎖を補助に足で登ってバランス確認、等々練習できました

稜線は小ピークを登っては降りてを繰り返す。簡単な岩だが、背後が切れ落ちたりしていて、結構コワイ。似たような岩峰をいくつも、いくつも、いくつも…ひたすら超えて進む。鎖が整備され、岩も滑らないので結構楽しい。不動岳、白川岳、摩利支岳、大日岳、とそれぞれ登って降りた。ゆく手を見ると先行者が岩に張り付いているのが見える。稜線ではロープウェイ方面から来た人が大勢いたが、ほとんどの人がロープウェイ→大日岳→迂回路で一方通行の為、すれ違う人は少なかった。意外に鎖場の渋滞もほぼなかった。

12時10分大日岳に到着。長めの休憩をとる。赤とんぼに囲まれて秋の気分。まだ梅雨中ですが。



写真をとって差し上げる親切な佐藤さん 見えないけど赤とんぼいっぱい



知らない人と青空

ガスと佐藤さん、向こうは絶壁

休憩を終えて大日岳の絶壁を降りる。ロープウェイ方面へ迂回路を進み、途中の新開道分岐で左に下山する。標識があり解りやすい。今度はひたすら岩を下る。はじめは岩と鎖場が連続する。岩が苔でシットリ滑るところがあったり、下りはコワい。途中から穏やかな森の道に変わる。

16時過ぎに駐車場に到着する。標高差1200m、累計高度は上り下りそれぞれ約1600mの岩場歩きは、がっつり歩いたなあ〜という感じだった。

湯らりあで入浴し、せっかくなので新潟の美味しいお米のお寿司を食べて千葉へ帰る。

計画の立案やもろもろは佐藤さんのご支援（というか全部）のおかげです。ありがとうございました。まずは足手まといにならないように体力 up、安全管理に努めていますが、チームの役に立てるようなことも少しずつ習得したいと思います。



お花の様なキノコ